

Sustainable Report No.173

海ごみ問題の 秘密兵器

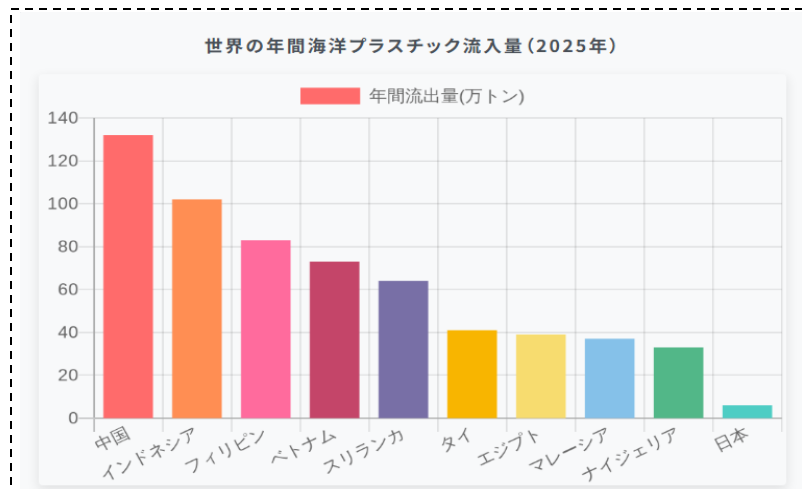


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

- 海に流出したプラスチックごみ発生量は、世界の**上位5国だけで約500万トン**も出ている。
また、日本の発生量は世界では30位で年間6万トンのごみを出している。
- 海に流れているマイクロプラスチックの3大原因とされているのが、**未管理の廃棄物や摩耗後の古タイヤ、ポイ捨て**となっており、流出量の3/4を占めている。
- 流れ出たマイクロプラスチックを誤飲した海洋生物が亡くなることで生態系を含めた海洋環境への悪影響だけでなく、観光や漁業への影響も懸念されています。

■ 各国の海ゴミ排出量ランキング



世界の海ゴミ問題 2025年版：8億トンの海洋プラスチックと私たちの未来 |
ハイサイクルン隊

■ 海ゴミが増えると…

海洋プラスチック問題の現状（概要）

1. 海岸での漂着ごみの事例



山形県酒田市飛島
長崎県対馬市

2. 漂着物の例



漁具
ポリタンク
洗剤容器

3. 想定される被害

- ・生態系を含めた海洋環境への影響
- ・船舶航行への障害
- ・観光・漁業への影響
- ・沿岸域居住環境への影響

⇒近年、海洋中のマイクロプラスチック（※）が生態系に及ぼす影響が懸念されている。
※サイズが5mm以下の微細なプラスチックごみ



海洋生物への影響
出典：UN World Oceans Day
出典：今川文庫資源環境部
マイクロビーズ
微細なプラスチック片

出典：海洋プラスチック問題の現状

▶ NEXT：秘密兵器の性能

■ 実行者／解決事例／残る課題

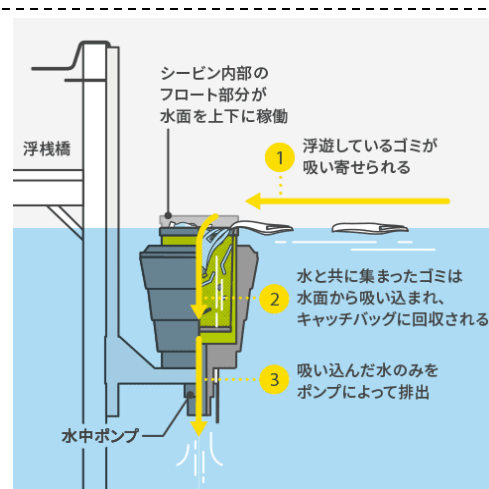
- 世界各地の海でサーフィンをしていたオーストラリア出身の二人が、「陸にはゴミ箱があるのに海にゴミ箱がないのはなぜ？」という疑問から開発された、sea（海） bin（ゴミ箱）という意味の『seabin』が誕生した。
- 既に**39ヶ国で導入されており、全世界で900台が稼働**している。また、日本でも稼働実績があり、東京五輪のセーリング競技会場の江の島にも設置された。
- 日本でも『seabin』を購入することが出来るが、**機器だけでも65万円と高額で、**光熱費や回収した**ゴミの処理費でも一回あたり約40万円**かかっている為、導入にはコスト面が課題になっている。

■ 海に浮かぶ『seabin』



出典：SEABIN(シービン)で海洋汚染 原因と対策 | 株式会社SUSTAINA

■ 『seabin』の仕組み



出典：Seabin (シービン) -海洋プラスチックゴミ回収装置 | 平泉洋行

▶NEXT：これからの海を守る為に 3

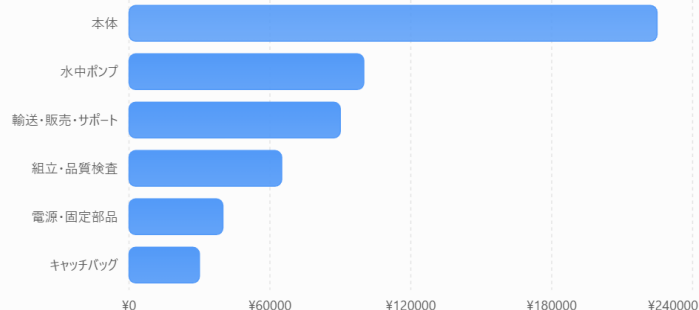
■ 残る課題の原因／理想／企業施策

- 『Seabin』は、**本体価格が高額**であることや、主材料である高密度ポリエチレンの代替素材がないこと、さらに**製造がオーストラリアに限られている**ことから、普及の妨げとなっている。また、日本では導入を支援する補助金制度が十分に整っておらず、静岡県補助制度も上限10万円と支援額が少ないことが課題である。
- 補助金の増額や各自治体や市区町村でごみ処分の無償化などの実現。また、海ごみの問題を減らす為に使用後の**廃棄を考えたモノづくりや仕組み**づくりが出来ている状態である。
- 海洋ごみを出さない為に、**マイ箸、マイスプーン**などの使用、**エコバックの持参**でコンビニなどでのビニール袋や割りばしなどのごみを減らすことが出来る。

■ 『Seabin』の内訳費用

Seabin（シービン）の価格内訳

1台約55万円を基準とした概算価格



出典：Seabin（シービン）-海洋プラスチックゴミ回収装置 | 平泉洋行

■ 海ごみゼロに向けて



出典：日本財団ジャーナル

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- ・ 世界の海ゴミ問題, <https://okinawa.friends-earth.jp/global-ocean-waste-problem-2025/>, 2026年7月1日
- ・ 第32回廃棄物資源循環学会研究発表会, 2026年7月1日
- ・ 一般財団法人「日本食品包装協会」 [2057abf33bc53b3d806c06d86ef25e15.pdf](#), 2026年7月1日
- ・ 「株式会社SUSTAINABLE JAPAN」, <https://www.sustainablejapan.org/seabin>, 2026年7月1日
- ・ 北星学院大学「経済学部 藤井ゼミ」, https://www.hokusei.ac.jp/news/140588/?utm_source=chatgpt.com, 2026年7月1日
- ・ 静岡県「森・川・海ごみ削減実践活動支援事業補助金」, <https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/recycle/1040876/1077141.html>, 2026年7月1日
- ・ 日本財団ジャーナル, https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2025/108273/social_good, 2026年7月1日
- ・ 株式会社プロジェクトデザイン, https://www.projectdesign.co.jp/cfb/marine-debris-problem/#elementor-toc_heading-anchor-3, 2026年7月1日

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- ・ 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- ・ 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- ・ 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- ・ 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。